

ともえ



繁栄を
あなたと育てる
商工会議所



トラピスト修道院(上磯町)

No. 139

函館商工会議所報
1993 — 3月号

はこしんは豊かな暮らしと
確かな未来の実現に
お手伝いいたします。

みなさまの



函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711代
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236代	上磯支店	上磯郡上磯町飯生町2丁目4番24号	TEL73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511代	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111代
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521代			

Lhくみカードローン

20万円から200万円まで

使い方自由

らくらく返済

担保・保証人不要

★詳しくは窓口へ
お問い合わせ下さい。



函館商工信用組合

本店 函館市千歳町9の6 ☎代23-2101

- 湯川支店 ☎57-0572代
- 上磯支店 ☎73-2308代
- 美原支店 ☎46-9121代
- 十字街支店 ☎26-5544代
- 花園支店 ☎55-2110代
- 富岡支店 ☎43-1311代

今月の表紙／視点	1
会議所の動き	2
・新幹線実現に向けて熱意を結集	
・青函グレルメサミット開催	
・市企画部との初の懇談会開催	
・名古屋会議所ウォーターフロント視察	
・珠算検定一級で満点合格の快挙	
・第二・第四土曜日閉所のお知らせ	
データをチェック	6
調査レポート	11
・地域の景気 金融経済概況 (一月)	6
・市内第一種大規模小売店舗売上高 (一月)	11
・函館地域における景気動向 (平成四年年度 第3四半期)	12
誌上講演	13
・経営者のガン予防 (10)	
・人の使い方 (10)	
共済推進コーナー	15
・暮らしのワンポイント	14
・さわやか君	
・有段を目指して	
・詰碁・詰将棋	
アドバイスコナー	16
・借地・借家法の基礎知識 (6)	17
Q & A	18
・みんなの相談室 (税務相談)	19
ご案内	20
・刊行物のご案内	22
・平成五年度検定試験日程決まる	
・倒産防止共済制度のご案内	
・講習会のご案内	
・第37回函館圏優良土産品推奨会のご案内	
・ご利用下さい 本所の個別専門相談	

◇今月の表紙

トラピスト修道院(上磯町)

上磯町渡島別れの函館湾を見下ろす丘陵に建ち、一直線に続くポプラ並木を抜けた正面にそびえる赤レンガゴシック様式の建物が、我が国最初の男子トラピスト修道院である。

その創設は明治二十九年(一八九六年)で、フランスから日本に帰化した岡田普理衛によって造られ、フランスから渡来の厳律シトウ修道会(トラピスト)の修道士たちが、毎日、神への奉仕と祈りを捧げている。

修道院の生活のほとんどが自給自足で、院内では、静寂な中修道士たちが開拓、植林、酪農、乳製品製造等に黙々と働いており、その姿は異国にみる聖地の情景を彷彿とさせる。本館下には詩人三木露風の文学碑がある。

視点



平成四年度もあと旬日を残すのみとなりました。

今年度は、日に日に厳しくなる経済環境の中で、三回の公定歩合の引下げが行われ、過去最低の二・五%とこの一年間に二%も低下しました。また昨年末には十兆円を越す補正予算も成立、懸命の景気回復措置が実施されましたが、まだ景況には変化は見られず、円高の傾向もあり、厳しい状況はなお続くと思われています。

このように経済成長の伸びが一段と厳しくなってきた中で、労働基準法の改正案が今国会で審議される運びとなりました。この改正案の内容は、週法定労働時間を平成六年四月一日より週四十時間とするもので、労働省の命令で定める規模・業種への適用については、平成九年三月三十一日までの間は、四十四時間制が認められ、又、現在特例措置の適用を受けている規模・業種については、継続されることとします。さらに時間外労働や休日労働に係る割増賃金率についても、二割五分以上五割の範囲内で定められることとなりましたが、当面は週一回の法定休日についてのみの引上げのようで、又年次有給休暇の継続勤務要件も一年から六か月に短縮することなどが含まれています。

これらはすべて年間労働時間千八百時間達成ということと推進されていると思いますが、世界の人口十五億の将来ということを考えると、先進国はもともとと働いて技術の向上をはかり、生産性をあげて、全人類の生活安定のために努力する義務があるのではないのでしょうか。



会 議 所 の 動 き

新幹線実現に向けて熱意を結集 中央陳情や総決起大会等を実施

北海道新幹線建設促進期成会
理事会と中央陳情

北海道新幹線建設促進期成会（会長・横路北海道知事）の理事会が去る二月十日札幌市で開催、また、中央陳情が去る二月二十四日に実施され、本所から若林会頭がそれぞれに出席・参加しました。

理事会では、昨年暮れの自民党の意志を踏まえて運輸大臣は、整備新幹線の見直し作業を平成五年度の予算成立（四月頃）を目途にスタートさせたい意向であると聞いていたとの情勢報告がありました。当期成会では、このような状況を踏まえ、道民世論の盛り上げと地域の熱意を中央に強くアピールしていくため、構成団体を中心とした道内各団体への決議依頼や、昨年を上回る規模での総決起大会の開催など、この見直し時に北海道新幹線の着工が明記されるよう、道選出国会議員、青森県、岩手県

等と連携をとりながら国などへの要請活動を一層活発に行っていくとの活動方針を決めました。

二十四日の中央陳情は、今年度四回目で、三十八名が参加し、北海道新幹線の早期着工と東北新幹線の青森開業時における当面函館までの同時開業に向けて自民党や関係省庁に強力な陳情活動を行いました。

「本所議員会で
自民党佐藤総務会長講演」

一方、本所議員、監事で構成する函館商工会議所議員会では、去る二月二十七日湯の浜ホテルでの議員懇話会の中で、自民党の佐藤総務会長をお招きして経済講演会を開催しました。

講演会では、佐藤総務会長は北海道新幹線問題にもふれ、「北海道は将来日本の食糧基地になる。付加価値の高い食糧品の輸送には新幹線が必要。国民のニーズに応



▲講演を行う佐藤総務会長

えるような多目的なものを考えなければならぬ」とし、北海道新幹線の誘致運動については、その必要性を理論武装しておくことが大切であると強調しました。

「東北新幹線全線フル規格実現期成会
設立総会・総決起大会」

東北新幹線盛岡―青森間全線フル規格実現期成会の設立総会と総決起大会が去る二月十六日、青森市文化会館において、約三千五百名が結集し開催され、北海道新幹線建設促進道南地方期成会の会長である若林会頭の代理で、本所高野副会頭が来賓として出席しました。

設立総会では、発起人代表の氏家東北六県商工会議所連合会長が「東北の力を結集して、フル規格化を実現しよう」と挨拶、同期成会の会則(案)、事業計画(案)等がそれぞれ承認されました。

総決起大会では、来賓を代表し北村青森県知事、工藤岩手県知事等が、フル規格実現に向けて挨拶、また、経済界からも、フル規格の必要性について、運輸政策、国土政策、青函トンネルの有効活用的一面から次々と発言がなされました。続いて「東北一千万人の総意でフル規格を実現しよう」と決議文が読み上げられ、満場一致で採択、会場の氣勢が盛り上った中で大会を終了しました。



▲参加者の熱意に沸く会場

北の味覚を満喫 青函グルメサミット開催

函館・青森両商工会議所青函圏特別委員会の共同事業である平成四年度青函サミットが、去る二月十二日、青森市の県観光物産館アスパムにおいて開催されました。

今回のサミットは、青函圏の豊かな食文化を地域振興、観光振興につなげる目的で「青函グルメサミット」として開催、本所からは副会頭全員が夫人同伴で参加するなど二十六名が参加、全体で約百名が青森の郷土料理を中心に、北の味覚の再発見に努めました。

サミットでは、会食に先立ち青森側の沼田会頭、函館側の高野副会頭より「郷土料理を見直し、新たな情報発信をすることが地域振興につながるものと期待している」旨の挨拶があり、続いて劇作家松村慎三氏による「味なまち……ロマンあおもりと食文化点描」と題した講話が行われました。
会食は、函館側の柳沢青函圏特

別委員会委員長の祝杯で始まり、鯛のジャッパ汁、けの汁、いちご煮、漬物など青森の郷土料理のほか、函館からはイギリス風カレーやワインが食卓に上り、料理を担当した青森の郷土料理店「西むら」の西村社長の説明や、郷土料理研究家千葉彩子さんの解説を聞きながら食談義に花を咲かせました。
最後に、「新しい青函圏の構築、魅力あふれる街づくりを目指し、北の味覚の再発見をしよう」と共同宣言を採択。うまい水や空気を



▲北の味覚に舌鼓を打つ参加者

市企画部との初の懇談会開催

守るための生活環境浄化作戦の展開、グルメ観光の推進などを進めていくことを確認し、函館側の松本副会頭の乾杯でサミットを閉会しました。

去る二月十六日、函館市企画部と本所事務局による懇談会が、井上企画部長、平野専務理事など八名出席のもとに開催されました。
今回は初めての会合であり、北海道新幹線の着工や函館駅前の再開発、函館空港C I Q整備、国立

大学など地域で直面する諸課題について、活発な意見交換が行われました。そして、これらの諸課題を進めていく中で、市と経済界とのパイプを太くしていくため、定期的にこの会を開いていくこととしました。



▲市港湾部からの説明に聞き入る一行

去る二月十九日、名古屋商工会議所の名古屋港ガーデンふ頭東地区研究会（座長・轟征人豊田通商株式会社開発部部长）の一行九名が、ウォーターフロント再開発の視察のために当地を訪れました。現在、名古屋市では昭和三十三年に建設された同港二号地区のコンクリート製倉庫群（敷地面積約

ウォーターフロント施設を視察 名古屋会議所一行が来函

三十八ヘクタール）を活用して、テーマパーク建設などの再開発が検討されており、同研究会は、ウォーターフロント開発で観光振興に効果を上げた好事例を視察研究のため、小樽とともに函館を訪れたものです。

当日は、本所会議室において、函館市港湾部の担当職員から、函館港湾計画の概要ならびに民間活力によるウォーターフロント再開発の概要について説明があり、一行からはウォーターフロント開発の手法などについて熱心な質問が出されました。このあと現地視察が行われ、函館ヒストリープラザやベイはこだてなどウォーターフロント施設の活用状況を見学しました。

珠算検定一級で満点合格の快挙



▲西須さん



▲砂田さん

昨年実施された日本商工会議所並びに函館商工会議所主催による珠算能力検定試験で、函大付属女子高校二年の西須小百合さんと函

館東高校一年の砂田有貴子さんの二人が、それぞれ念願の一級全種目（乗算、除算、見取算、伝票算）満点合格を果たしました。

函館では、昭和十九年の第一回検定試験実施以来砂田さんで十八人目となりますが、速さと正確さの両立が求められ、有段者でも至難の業といわれる快挙を成し遂げた二人には、日本商工会議所から表彰状と記念の楯、バッチが贈られました。

第2・第4土曜日閉所のお知らせ

本所では、来る4月1日より毎月第2・第4土曜日を閉所させていただきますことになりましたので、ご了承下さいますようお願い申し上げます。

なお、第2・第4土曜日以外の土曜日につきましては、従来通りの業務を行っておりますので、お気軽にご来所下さい。

函 館 商 工 会 議 所



事務局日誌

2月

* 正副会頭会議

- 9(火) 第32回正副会頭会議
- 23(火) 第33回正副会頭会議

* 会議(日商)

- 17(水) 第1回労働・環境合同委員会
- 18(木) 第412回常議員会
- 23(火) 平成5年度小規模企業対策に関する事業説明会

* 会議(道商連)

- 18(木) 北海道商工会議所婦人会連合会(仮称)第1回設立準備委員会

* 審査会

- 24(水) 小企業等経営改善資金審査会

* 諸会議

- 1(月) リストラクチャリングと地域雇用開発に関する日米比較調査
 - 〃 第一種大店審案件についての四者協議
- 2(火) 函館繊維商組合役員会
 - 〃 日銀主催「四者懇談会(渡島支庁長、函館市長、日銀函館支店長、会頭)」
- 3(水) (財)テクノポリス函館技術振興協会理事長との懇談
- 4(木) 函館日花商盛会商店街診断中間報告
- 5(金) 函館市小売商業振興ビジョン策定に係わる関係団体連絡会議
 - 〃 函館港湾振興会役員会
 - 〃 第5回函館市公文書公開審査会
- 6(土) 第3回函館市十字街地域地区更新基本計画策定委員会
- 8(月) 平成5年第1回函館市都市計画審議会
- 9(火) 「北海道フェア in ウラジオストク」関係者打合せ会議
 - 〃 渡島管内商工指導関係機関と商工会長懇談会
- 10(水) 議員会役員会
 - 〃 函館市人材確保推進協議会
 - 〃 北海道新幹線建設促進期成会平成4年度理事会
- 12(金) 青函グルメサミット
 - 〃 函館市地方港湾審議会
- 13(土) ロシア連邦代表団との懇談会
- 15(月) 箱館奉行所復元促進期成会第5回講演会
- 16(火) 婦人会2月例会
 - 〃 函館市企画部との懇談
 - 〃 函館卸商連盟正副会長会議
 - 〃 函館空港CIQ関係機関連絡会議
- 17(水) 年金共済受託会社との事務打合せ
 - 〃 函館ソフトウェア専門学校第6回運営委員会
- 18(木) 日花商盛会に対する商業振興対策事業の申請に係るヒヤリング
 - 〃 箱館五稜郭祭に係る北海道警察との打合せ
 - 〃 所報「ともえ」3月号 No.139編集会議
- 19(金) 名古屋商工会議所名古屋港ガーデンふ頭東地区研究会によるウォーターフロント視察
 - 〃 七飯町議会議員会講演会「函館圏経済の今日と明日」
- 20(土) 函館市公文書公開審査会
- 23(火) 婦人会役員会
 - 〃 函館販売士協会役員会、新年懇親会
 - 〃 箱館五稜郭祭実行委員会役員会
- 24(水) 函館市都市景観委員会
 - 〃 通産省産業政策局総務課大伴会議所専門職、工藤管理専門職との懇談会
- 25(木) 通産省大伴会議所専門職、工藤管理専門職との懇談
 - 〃 N T T函館支店望月支店長との夕食懇談会
 - 〃 函館市公文書公開審査会第1回答申
 - 〃 平成4年度函館地域デザインおこしセミナー
 - 〃 「北海道フェア in ウラジオストク」出品企業打合せ会議
 - 〃 十字街地域五番街再開発協議会(仮称)設立総会

- 26(金) 函館開発建設部シンポジウム「グローバル」第3回函館市中小企業振興審議会
 - 〃 函館繊維商組合総会、新年懇親会
- 27(土) 議員会懇話会

* 講習・催物

- 8(月) 所得税の確定申告説明会(新規白色申告者説明会)
- 9(火)~3/15(月) 納税相談
- 10(水) 経営相談
- 11(木)~14(日) '93はこだて冬・フェスティバル
- 16(火) 業種別接客セミナー(理容業)
- 17(水) 業種別接客セミナー(寿司店)
- 20(土) (社)函館地方法人会講演会「21世紀の教育構想」
- 26(金) シンポジウム「環日本海経済圏における道南の役割と発展について」
 - 〃 法律相談

* 刊行物

所報「ともえ」2月号 No.138
函館市における貸金指標(平成4年度)

* 相談・診断

金融 110 税務 361 経理 29 経営 33 労働 2
取引 0 その他 0 合計 535

* 貸室

9 書受信 157 発信 10

* 検定試験

- 14(日) 第137回珠算能力検定試験
 - 〃 4級ワープロ技能検定試験
- 17(水) 第31回販売士検定試験

* 陳情・要望

- 16(火) 東北新幹線盛岡・青森間全線フル規格実現期成会設立総会、総決起大会
- 24(水) 北海道新幹線建設促進期成会平成4年度第4回中央陳情

* 慶弔・その他

- 2(火) 海上自衛隊第4護衛隊群司令新田海将補表敬訪問
 - 〃 海上自衛隊第4護衛隊入港記念昼食会
- 3(水) 北海道新聞函館支社長酒井謙一郎氏着任挨拶
- 9(火) 〃 〃
- 10(水) 函館~釧路間コンピューター航空実験運航出発式
 - 〃 函館司法書士会、函館土地家屋調査士会新会館「桐朋会館」落成披露
- 11(木) '93はこだて冬・フェスティバルオープニングセレモニー(元町会場)
- 12(金) 函館市商店街振興組合連合会新年懇親会
- 13(土) '93はこだて冬・フェスティバルオープニングセレモニー(五稜郭会場)
- 16(火) 第28回北海道技能士大会
- 17(水) (社)函館競馬場馬主協会新年会
 - 〃 函館鮭同業会新年懇親会
- 20(土) 三菱商事(株)発注MTDW型積積貨物船進水式、祝賀パーティー
 - 〃 大館市民号親善訪問
- 21(日) 函館中央卸売市場買参者商業協同組合新年懇親会
- 23(火) (株)五島軒新工場竣工披露宴(上磯町)
- 24(水) 函館割烹調理士会四条公祭式典、新年懇親会

会費納付は口座振替をご利用下さい

商工会議所の年会費は、口座振替によって、お支払ができることをご存知でしょうか。

とても簡単な手続きで済み、また多数の会員さんがご利用されています。手続き等については、お早めに総務課(☎23-1181)までご連絡下さい。

住宅着工戸数（1月）は、持家が順調な伸びを示したほか、周辺3町に分譲建売住宅の高伸もあって、5カ月振りに前年を上回った。この間、建設業者の手許仕事量をみると、建築主体先は民間設備投資の減少から低迷の域を脱していないが、土木主体の業者では官公需による受注が増加している。

(5) 漁業

漁業の状況を見ると、スケトウ漁（漁期10～2月）は魚価が低迷するなか、渡島では数年振りの豊漁から前年を上回る水揚げ額となったが、桧山では不漁続きのため前年を大幅に下回り、全体では前年を1割方下回る水揚げ額でほぼ終漁。また噴火湾ホタテ漁（養殖、漁期12～3月）も、貝毒や大量弊死の発生もなく、今のところ出荷は順調ながら、供給過剰や末端消費の低迷から原貝価格は前年割れとなっており、ホタテ漁家の採算割れが懸念されている。

(6) 消費関連

1月中の市内大型小売店（10店）売上は、暖冬による冬物重衣料の不振に加え、家庭用品、食料品が落込んでいることから、5カ月連続の前年割れ（前年比マイナス4.2%）となった。また、耐久消費財では、乗用車が一部小型車に動意が窺われるものの、全体の販売を押し上げるには至らず、引続き前年割れとな

っているほか、家電もパソコン等一部製品を除いて依然不振が続いており、総じて低調な販売地合い。この間、観光・レジャー面をみると、宿泊施設は台湾からの低価格ツアーや企画物の奏功から湯の川地区を中心に1月は前年を上回る宿泊客数を確保したが、交通機関の利用客数は、東京・大阪方面からのスキーツアー客の入込み鈍化、フェリーの青函航路の冬期間一部運休もあって、2カ月連続の前年割れとなった。

3.金融事情(1月中)

実質預金は、ボーナス預金の取崩しや年末協力預金の剥落を映じ、前年の478億円減に比べてさらに月中339億円の大減となった。一方、貸出しも、年末決済・賞与資金の回収が多額にのぼったほか、設備需資が引続き少なかったため、前年の189億円減に比べて月中212億円減の大減となった。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、短期プライムレートの引下げ等を映じ、月中マイナス0.045%と引続き低下した。

銀行券は、年末決済・賞与資金の還流等から月中181億円と前年の266億円を下回る還収超となった。

財政収支は、租税、保険、郵便局の受入を中心に前年の154億円を下回る月中126億円の受超となった。

データをチェック!

増える転職希望者

～ 生活の維持から自己実現へ ～

現在は働いていて転職を希望する人の割合は、20年前の2.3%から8%（平成3年）と、伸び率は年々上昇する傾向にあります。この傾向はすべての年齢層でみることができます。なかでも、若い世代になるほど転職を希望する割合が多くなっています。

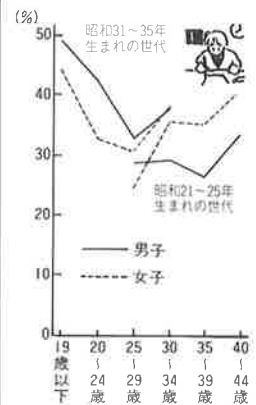
その理由としては、まず働く人の関心事が「生活の維持」から、「転職をすることで自己実現を果たす」ことに意識が変わってきていることが挙げられます。

一方では、こうした転職を実現できる環境（条件）が、就職する側と雇用する側の両方に整いつつあることも意識の変化に拍車をかけています。

長期的にみて転職を希望する人が増えていることは、いわば時代の流れということができます。

転職理由のなかに個人的理由を挙げる人の割合は、ここ数年増えており、若い世代になるほど多いのが目立ちます。この傾向は、働く人の意識の変化を物語っており、転職の希望者が増え続けていることを裏付けています。

転職理由に個人的な理由を挙げた人の割合





1. 概況

最近の管内経済動向をみると、公共投資の発注が順調に進捗しているほか、住宅投資が函館市周辺3町の持家系を中心に持ち直しているものの、民間設備投資や個人消費の低迷が依然続いており、冬場観光も総じて盛上りに欠けるなど、全体の景気は引続き調整局面にある。

すなわち、製造業では、セメント・水晶振動子が足許高めの生産態勢で臨んでいるほか、造船もまずまずの操業度を維持しているが、これまでフル操業を続けていた半導体の生産が年末需要の剥落もあり、幾分低下している。また、一般機械は、消費需要の不振等から依然抑制的な生産を続けている。非製造業では、建設業が土木主体の先を中心に公共工事の受注増から繁忙感を強めているが、市内大型小売店の売上は、冬物衣料を中心に不冴え裡に推移しているほか、一部商品に動意がみられる乗用車・家電等の耐久消費財も全体としては低調な販売を託っている。この間、観光は、低価格ツアー等により前年を上回る宿泊客の入込みがみられるものの、各種交通機関の利用客数は前年を割込むなど、今ひとつ盛上りに欠ける状況が続いている。

漁業では、スケトウ漁が、桧山地区の不振が響き前年を下回る水揚げ額でほぼ終漁、また、噴火湾ホタテ漁も供給過剰や消費低迷等から前年を下回る水揚げで推移しており、管内漁業全体の水揚げは総じて不冴え。

こうしたなか、管内企業の来年度にかけての設備投資動向を窺うと、製造業が収益や手

許資金繰りの悪化、生産設備の過剰感を背景に慎重なスタンスを示しているものの、ホテル等非製造業の一部では積極的な投資姿勢をみせている。

1月の金融動向をみると、預金、貸出しとも地合い低調ななか、年金・ボーナス預金等の剥落や年末決済資金等の回収から、いずれも大幅な減少となった。この間、管内銀行の貸出し約定平均金利は、短期プライムレートの引下げ等から引続き低下した。

2. 主要業種別動向

(1) 機械・電子部品

半導体は、4メガDRAMを中心に米国需要が堅調に推移しているものの、家電メーカーの在庫圧縮の動きなどから国内需要が全般的に不冴えであり、総じてみればこれまで高水準だった操業度をやや引下げつつある。一方、水晶振動子は、引続き高めの生産を維持しているほか、造船も修繕船の受注は鈍っているものの、補正予算絡みの橋梁の受注が引続き好調なため、全体ではまずまずの操業度となっている。この間、一般機械は、合板関連が国内メーカーの設備投資意欲低迷から、また製缶関連、水産加工関連も消費需要の不振から、いずれも低調な生産が続いている。

(2) 食料品

水産加工の売上は、消費需要の低迷や原料安に伴う納入価格の低下の影響から引続き前年を下回っているほか、飼料・魚油も前年を下回る売上を続けている。

(3) その他製造業

セメントは、補正予算成立の遅れを睨んで一時慎重化していた生産をフル操業に戻したほか、生コンの出荷量も増加しつつある。一方、合板は、先行き原木不足が予想されるなか、流通業者の手当て買いから出荷は増加しているが、実需の盛上りは未だみられず、抑制的な生産姿勢を継続。また、段ボールの生産・出荷も加工食品等の荷動き鈍化から低調裡に推移しており、漁網の受注・生産も需要低迷から不冴え。

(4) 建設関連

管内主要5官庁の公共事業発注状況をみると、補正予算を含め年度内支出分の発注はほぼ終了、管内の公共投資は引続き好調に推移している。また、函館市及び周辺3町の新設

や木製品・家具業、金属・一般機械器具業等は今期比、前年同期比ともにD Iがマイナスを示し、生産活動の低迷が予想される。

【卸売業】

今期比△36.0、前年同期比△28.0と、いずれもD Iがマイナスを示している。

細業種でみても、厳しい見方をする業種が多く、特に一般機械器具業と建築材料業は今期比、前年同期比ともにD Iが大幅なマイナスを示し、警戒感を強めている。

【小売業】

今期比△37.6、前年同期比△46.5と、いずれもD Iが大幅なマイナスを示している。

細業種でみると、自動車販売業が今期比で増額を見込んでいるが、他の業種はすべてD Iが横ばいまたはマイナスを示し、業績悪化を予想している。

【サービス業】

今期比△57.1、前年同期比△46.4と、い

ずれもD Iが大幅なマイナスを示している。

細業種でみても、自動車整備業が横ばい状態である以外は、すべての業種でD Iがマイナスを示し、特に、ホテル・旅館業ではオフシーズンの影響もあり、厳しい見通しとなっている。

3. 資金繰りについて

来期の資金繰りについては、全業種で今期に比べ「好転」とみる企業2.1%に対し、「悪化」とみる企業16.8%で、D Iは△14.7とマイナスを示しているが、「不変」とする企業が81.1%を占めている。

業種別にD Iをみると、建設業△17.6、製造業△9.3、卸売業△8.2、小売業△16.6、サービス業△28.6と、いずれもマイナスを示しているが、各業種とも「不変」と回答する企業が7割以上を占めている。

函館市内、第一種大規模小売店舗売上高<10店>

平成5年1月

品名	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	3,721,877	86.8	94.2
身の回り品	855,445	77.8	99.8
雑貨	838,435	67.6	95.2
家庭用品	646,093	64.0	96.1
食料品	1,726,100	46.3	98.5
食堂・喫茶	197,304	99.2	96.7
サービス	108,456	91.4	82.5
その他	548,264	65.7	96.4
総計	8,641,974	69.0	95.8

統計資料

<10店>棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ダイエー五稜郭、
テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ダイエー湯川店の各店

業種では38.9%を占め、トップとなっている。

問題点を業種別にみると、

建設業では「受注の不振」29.3%、「景気の見通し難」23.5%、「工事価格の値下がり」・「労務費の増加」・「求人難」・「純利益の減少」がそれぞれ11.8%。

製造業では「売上・受注の不振」が38.8%、「景気の見通し難」24.5%、「純利益の減少」12.2%、「人件費等経費の増加」10.2%。

卸売業では「売上・受注の不振」が43.8%、「景気の見通し難」12.5%、「人件費の増加」・「純利益の減少」がそれぞれ10.4%。

小売業では「売上の不振」が42.4%、「客足の減少」14.8%、「求人難・人材難」13.0%、「純利益の減少」11.1%。

サービス業では、「売上の不振」28.0%、「客足の減少」・「人件費の増加」がそれぞれ24.0%等となっている。

来期(1月～3月)の見通し

今 期：4年10月～12月

前年同期：4年1月～3月

1. 業況について

函館地域企業の来期業況見通しを全業種でみると、今期に比べ「好転」するとみる企業6.5%に対し、「横ばい」企業47.5%、「悪化」するとみる企業46.0%で、D Iは△39.5とマイナスを示している。また前年同期比でも、「好転」するとみる企業5.5%に対し、「横ばい」企業49.2%、「悪化」するとみる企業45.3%で、D Iは△39.8とマイナスを示し、更に厳しい状況を予想している。

業種別にD Iをみると、今期比では建設業△44.4、製造業△38.0、卸売業△40.8、小売業△29.1、サービス業△57.1、また前年同期比でも、建設業△38.8、製造業△34.0、卸売業△32.0、小売業△49.0、サービス業△46.4と今期比、前年同期比ともにすべての業種でマイナスを示しており、業況悪化を見通している。

図-5 来期の業況見通し(対前年同期比)

	(D.I) 好転 横ばい 悪化		
	好転	横ばい	悪化
全業種 (-39.8)	5.5	49.2	45.3
建設業 (-38.8)	5.6	50.0	44.4
製造業 (-34.0)	8.0	50.0	42.0
卸売業 (-32.0)	2.0	64.0	34.0
小売業 (-49.0)	7.3	36.4	56.3
サービス業 (-46.4)	3.6	46.4	50.0

2. 売上額について

来期の売上見通しを全業種でみると、今期に比べ「増加」するとみる企業8.7%に対し、「横ばい」企業47.2%、「減少」するとみる企業44.1%で、D Iは△35.4とマイナスを示している。また前年同期比でも、「増加」企業8.2%に対し、「横ばい」企業51.0%、「減少」企業40.8%で、D Iは△32.6とマイナスを示し、厳しい見通しとなっている。

図-6 来期の売上見通し(対前年同期比)

	(D.I) 増加 横ばい 減少		
	増加	横ばい	減少
全業種 (-32.6)	8.2	51.0	40.8
建設業 (5.9)	23.5	58.9	17.6
製造業 (-26.7)	8.9	55.5	35.6
卸売業 (-28.0)	6.0	60.0	34.0
小売業 (-46.5)	7.1	39.3	53.6
サービス業 (-46.4)	3.6	46.4	50.0

次に来期の売上見通しを業種別のD Iでみると、

【建設業】

今期比0.0、前年同期比5.9と、前年同期比ではD Iがわずかながらプラスを示している。

細業種でみると、設備工事業が今期比マイナスを予想しているが、補正予算成立後の公共工事受注増が期待される総合工事業は、増額予想となっている。

【製造業】

今期比△31.1、前年同期比△26.7と、いずれもD Iがマイナスを示している。

細業種でみると、飲食料品業と造船業が、今期比で増額を予想しているが、水産加工業

次に売上額を業種別にみると、

【建設業】

今期の工事完成額についてのDIは、前期比0.0、前年同期比△5.6と、前年同期比ではわずかながらマイナスを示している。

細業種でみると、総合工事業が前期比で堅調な実績をみせているが、職別工事業と設備工事業は、いずれも横ばいまたは減額している。

【製造業】

今期の生産額についてのDIは、前期比△21.2、前年同期比△45.6と、いずれもマイナスを示している。

細業種でみると、飲食料品業が前期比、前年同期比ともに増額しているが、他の業種は概ね横ばいまたは減額となっている。

【卸売業】

今期の売上額についてのDIは、前期比で6.1のプラスを示しているが、前年同期比では△20.0と、マイナスを示している。

細業種でみると、医薬品・化粧品業が増額基調にあるが、他の業種は概ね横ばいまたは減額基調にあり、特に建築材料業は前期比、前年同期比ともに大幅なマイナスを示している。

【小売業】

今期の売上額についてのDIは、前期比△19.6、前年同期比△41.1と、いずれもマイナスを示している。

細業種でみても、すべての業種が前期比、前年同期比ともに横ばいまたはマイナスを示している。

【サービス業】

今期の売上額についてのDIは、前期比△46.4、前年同期比△39.3と、マイナスを示し、いずれも半数の企業が悪化を訴えている。

細業種でみると、自動車整備業が好調な実績をみせているが、他の業種はすべて前期比、前年同期比ともに大幅なマイナスを示している。

3. 純利益について

今期の純利益を全業種でみると、前期に比べ「増加」している企業16.1%に対し、「横ばい」企業38.7%、「減少」している企業45.2%で、DIは△29.1とマイナスを示している。また、前年同期比でも「増加」企業10.3%に対し、「横ばい」企業37.9%、「減少」企業51.8%で、DIは△41.5と採算面は悪化している。

業種別にみても、すべての業種が前期比、前年同期比ともにマイナスを示し、悪化傾向を示している。

図-3 今期の純利益(対前年同期比)

	(D.I) 増加	横ばい	減少
全業種 (-41.5)	10.3	37.9	51.8
建設業 (-11.1)	16.7	55.5	27.8
製造業 (-48.0)	8.0	36.0	56.0
卸売業 (-43.8)	8.3	39.6	52.1
小売業 (-34.8)	15.4	34.6	50.0
サービス業 (-59.3)	3.7	33.3	63.0

4. 資金繰りについて

今期の資金繰りを全業種でみると、前期に比べ「好転」した企業3.1%に対し、「悪化」した企業18.2%で、DIは△15.1とマイナスを示しているが、「不変」とする企業が78.7%を占めている。

業種別にみると、小売業(△20.4)とサービス業(△30.8)が悪化しているが、各業種とも6割以上の企業が「不変」と回答している。

図-4 今期の資金繰り(対前期比)

	(D.I) 好転	不変	悪化
全業種 (-15.1)	3.1	78.7	18.2
建設業 (-11.8)		88.2	11.8
製造業 (-10.9)	4.3	80.5	15.2
卸売業 (-6.2)	2.0	89.8	8.2
小売業 (-20.4)	3.7	72.2	24.1
サービス業 (-30.8)	3.8	61.6	34.6

5. 経営上の問題点

今期最も苦慮している経営上の問題点としては、「売上・受注の不振」をあげる企業が全

函館地域における 景気動向

〈平成4年度・第3四半期〉

平成4年度・第3四半期（平成4年10月～12月）の函館地域における景気動向調査（本所調査）結果がまとまりましたので、概況をお知らせします。

尚、調査対象及び回収状況は次の通りです。

業種別	対象企業数	回収企業数	回収率
全業種	320社	215社	67.2%
建設業	40	20	50.0
製造業	80	52	65.0
卸売業	70	52	74.3
小売業	90	63	70.0
サービス業	40	28	70.0

（注）本調査結果の中のD Iとある記号は、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値を示しています。

今期(10月～12月)の実績

前期：4年7月～9月

前年同期：3年10月～12月

1. 業況について

函館地域企業の今期業況を全業種で見ると、前期に比べ「好転」している企業が19.0%に対し、「横ばい」企業45.5%、「悪化」している企業35.5%で、DIは△16.5と3年度第4四半期から、4期連続のマイナスとなり、悪化基調で推移した。

業種別のDIで見ると、建設業0.0、製造業△16.4、卸売業2.1、小売業△19.6、サービス

業△53.5と、卸売業ではわずかながらプラスを示しているが、他の業種は依然低迷している。

また、今期業況を前年同期比で見ると、全業種では「好転」企業12.1%に対し、「横ばい」企業39.2%、「悪化」企業48.7%で、DIは△36.6を示し、悪化している。

これを業種別のDIで見ると、建設業0.0、製造業△49.0、卸売業△30.0、小売業△42.9、サービス業△38.5と、前年同期比では建設業を除いて、大幅なマイナスを示している。

図-1 今期の業況(対前年同期比)

全業種 (-36.6)	(D.I) 好転 横ばい 悪化		
	12.1	39.2	48.7
建設業 (0.0)	22.2	55.6	22.2
製造業 (-49.0)	10.2	30.6	59.2
卸売業 (-30.0)	12.0	46.0	42.0
小売業 (-42.9)	10.7	35.7	53.6
サービス業 (-38.5)	11.5	38.5	50.0

2. 売上額について

今期の売上額の状況を全業種で見ると、前期に比べ「増加」している企業23.2%に対し、「横ばい」企業37.9%、「減少」している企業38.9%で、DIは△15.7とマイナスを示し、減額基調で推移した。

また、今期の売上額を前年同期比で見ると、全業種では「増加」企業14.1%に対し、「横ばい」企業38.4%、「減少」企業47.5%で、DIは△33.4とマイナスを示し、前年より業績は悪化している。

図-2 今期の売上額(対前年同期比)

全業種 (-33.4)	(D.I) 増加 横ばい 減少		
	14.1	38.4	47.5
建設業 (-5.6)	22.2	50.0	27.8
製造業 (-45.6)	10.9	32.6	56.5
卸売業 (-20.0)	20.0	40.0	40.0
小売業 (-41.1)	10.7	37.5	51.8
サービス業 (-39.3)	10.7	39.3	50.0